



萩東中だより



2020年
12月24日

〒758-0025 萩市土原556番地 TEL0838(25)2721 FAX0838(25)3721
e-mail higashi-jh@edu.city.hagi.lg.jp

NO.17

萩高校探究科の生徒と「ふるさと萩」について熟議をしました！

体育館で待ち構えた1年生が拍手で迎えたのは、萩高校探究科1年生の生徒40名です。12月8日（火）、かねてから準備を進めてきた「中学生と高校生の熟議」を開催しました。簡単なセレモニーの後、さっそく中学生は20のグループに分かれ、その中に高校生が2名ずつ入って熟議を行いました。今回の熟議では、「ふるさと萩ってぶちすごい！」のテーマの下、中学生が取り組んでいる「ふるさと学習」の学習成果を発表し、今後の学習の進め方やプレゼンテーションの仕方について、高校生からアイデアやアドバイスをもらいました。高校生も事前に「ファシリテーター研修会」を実施し、この日に備えてくれました。中学生は、最初こそやや恥ずかしがったり緊張したりする様子が見られたものの、30分もすればすっかり打ち解け、いつのまにか高校生を囲むように頭を寄せ合って、先輩からの話を真剣に聞いていました。また、熟議をリードする高校生のすばらしさが随所に見られ、中学生は高校生へのあこがれの気持ちを強めたようです。



今年度、萩東中学校では、「志を高めるキャリア教育の充実」をすべての教育活動の柱に据え、自分の将来に夢や希望をもち、理想とする自分の将来の姿に近づこうと努力する生徒、ふるさと萩に誇りをもち、郷土に貢献したいという思いを強くもつ生徒を育てることを目的に、「職場体験学習」や「校内ハローワーク」、「立志式」などさまざまなキャリア教育の取組を行っています。

今回行った「高校生との熟議」もキャリア教育の一環として、本年度からスタートさせた新たな取組です。一度きりのイベントで終わるのではなく、今後は学期に一度のペースで熟議を重ね、高校生だけでなく、起業している若者、地域の大人、高齢者など、さまざまな世代の方にグループに入っていただくことで、一層充実した取組にしていきたいと考えています。



さて、長かった2学期が今日で終了しました。コロナ禍の中で、厳しい状況が続いていますが、皆様のおかげでなんとか2学期を終了することができました。ここに来て、さらにコロナウイルスの感染が広がりつつあります。例年とは違う年末年始となりますが、お家時間が増えることを逆に生かして、親子のふれあいを深めてください。2学期も大変お世話になりました。よいクリスマス、よいお年をお迎えください。

（校長 網本徳文）

「てごの日」学校の環境美化に取り組んでいただきました！

今年度、コロナウイルス感染予防対策で、様々な活動が制限されています。そのような中、12月6日（日）に、「てごの会」の方々が、生徒では清掃が難しい所の窓をピカピカに磨いてくれました。多くの地域の方々に支えられて、学校経営ができていのだなと改めて感じる一日でした。活動いただいた「てごの会」の皆さま、ありがとうございました。今後、学期に1回程度、「てごの日」と名付け、学校支援をしてくださるそうです。



3年生が面接練習に取り組んでいます！

3年生の受験対策として、退職された校長先生や保護司、家庭教育アドバイザーに面接官を依頼し、面接練習を行いました。3年生は、今まで学級担任と何度も面接の練習をしてきましたが、さすがに地域の方との面接は、とても緊張していましたが、たくさんの助言をいただき、とても勉強になったようです。今は、放課後に校長、教頭から面接指導を受けています。これからも夢の実現に向け、努力を続けていきます。



生徒会役員選挙を行いました！

12月4日（金）、これからの生徒会のリーダーを決める選挙が行われました。緊張感漂う厳粛な雰囲気の中で、演説会や投票、開票が行われました。今年度は、コロナウイルス感染予防のため、学年ごとに演説会を実施したので、立候補者は3回演説をしました。どの立候補者も立派なスピーチでした。新生徒会役員については、次号でお知らせいたします。



職業講話(校内ハローワーク)、とても勉強になりました！

12月2日（水）、地域の方24人を講師にお招きし、「仕事のやりがい」や「今の仕事を選んだ理由」等をお話いただき職業講話を行いました。講話では、講師の仕事にかける情熱にふれたり、ふるさと萩を思い、萩に戻って家業を継いでいることを伺ったりと、自分の将来について深く考えるよい機会となりました。一緒に聴いていた教員も、とても感動していました。このような状況の中、学校に来て講話をしていただいた方々に、本当に感謝いたします。

